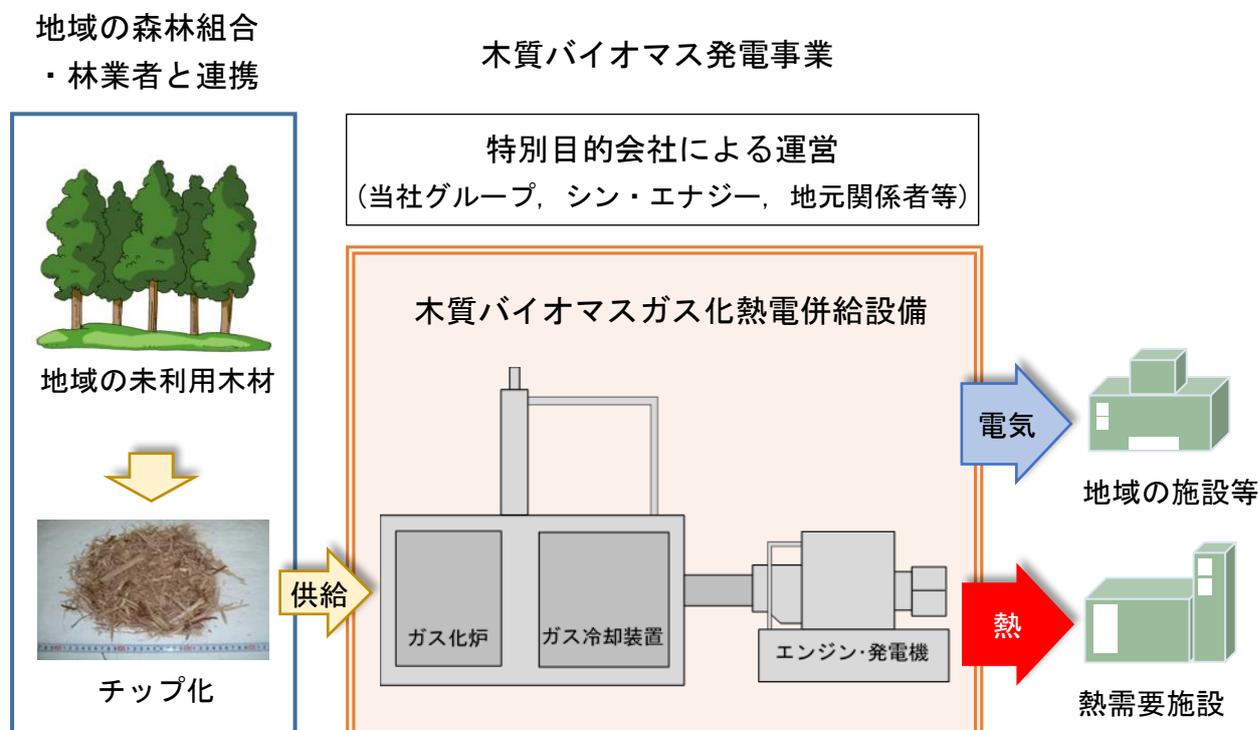


地産地消型の木質バイオマス発電事業のイメージ



- ・ 本事業では、地域の未利用木材を燃料として活用する小規模分散型（電気出力：500kW～数千kW）の「木質バイオマスガス化熱電併給設備」を用いることを想定しています。
- ・ 「木質バイオマスガス化熱電併給設備」は、未利用木材をチップ化した燃料をガス化炉で蒸し焼きにして生成したガスを用いて発電を行うとともに、排熱から熱エネルギーを生産するシステムです。
本システムを採用することにより、小規模でも高い発電効率（20～30%程度[※]）が見込まれます。
※ 熱効率も含めた総合効率は70～80%程度
- ・ 本事業を持続可能なものとするため、地域と連携して一定量の木質バイオマスを安定的に調達するための仕組みの構築や、熱エネルギーを有効活用する方法の検討に加え、地域の活性化に貢献できる取り組みとすることが重要であり、今後、両社で事業実現を目指して検討を進めてまいります。